

第29回 荒尾市在宅医療連携室事例検討会！

令和元年6月5日(水)

高齢者の口腔ケアについて

荒尾市歯科医師会

令和元年6月5日荒尾市在宅連携室第29回事例検討会が行われた。

毎年、6月の事例検討会は、同月の「虫歯予防デー」にちなみまして歯科医師会が担当しています。本年度も「高齢者の口腔ケア」と題して熊本県歯科医師会の口腔保健センターセンター長である松岡拓治先生が、「口腔ケアの現状」と題して、荒尾市歯科医師会の田中文丸先生が講演した。

松岡先生の「高齢者の口腔ケア」では、高齢者の口腔関係の最近の話題として、「フレイル」「オーラルフレイル」「サルコペニア」「口腔機能低下症」を取り上げ、高齢者の全身の特徴や口腔内の生理的変化・形態的特徴などを詳しく説明された。また、認知症の患者もからめ、口腔ケアの必要性や有効性、アプローチの仕方や口腔ケアのテクニカル的なポイント等の説明があった。

一方、田中先生の「口腔ケアの現状」では、長く口腔ケアを行っていない高齢者では、口を開けようとしても、口腔・口腔周囲にこびりついている「痂皮」が問題で、安易に取り除こうとすると大量出血の恐れがあり、技能が上達するまでは専門的な医療者（歯科衛生士等）に任せた方がよいとの事であった。この痂皮を取り除くことによって口唇を自由に動かせるようになり、実際の口腔ケアができるようになるとの事だった。

この日は、100人を超える多職種が参加し、口腔管理の重要性が浸透してきたと感じた。今後も荒尾市では在宅連携が進んでいく事が期待できると思う。

今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



第30回 荒尾市在宅医療連携室事例検討会！

令和元年8月7日(水)

荒尾市民病院

がん化学療法看護認定看護師 森田 茂美
 緩和ケア認定看護師 松山 美保

「もしもの時に備えて、命の終わりをどう過ごすかについて考える～もしバナゲームをきっかけに～」

第30回荒尾市在宅事業事例検討会・第32回有明緩和ケア研究会の合同研修会は、3年連続でアドバンス・ケア・プランニング(ACP)をテーマとし開催しました。有明地域より52名の多職種の方々の参加がありました。

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは、「今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者が患者自らの意向に基づき予め話し合うプロセスのことをいいます。」それは患者の現在の気がかりや不安、患者の価値観、目標、現在の病状や今後の見通し、治療や療養に関する選択肢などを含みます。

今後20年間、日本は高齢者夫婦だけの世帯や独り暮らしの世帯が増えていくことが予想されています。荒尾市の現在の65歳以上の高齢化率は34.7%で、今後も急速な上昇が見込まれます。超高齢化社会の中で、医療を取り巻く状況も変化してきています。自宅やサービス付き高齢者住宅、介護施設など療養の場は多様となってきています。療養の場の選択肢は増えても、自宅や介護施設で体調を崩した時に医療処置をどうするのか、急変した場合、蘇生処置をどうするのかといったことをあらかじめ決めておかなければならない状況が生じてきます。しかし高齢者の場合、病気が重篤化することが多く、その際には意思を伝えられない状況になっていることが少なくありません。だからこそ病気になってからではなく、元気な時に少しずつ「もしも自分が病気になったなら…」を考え、話し合っていくことが大切なのです。

厚生労働省は2018年ACP自体を「人生会議」と呼んで啓発に努めています。人生の最期にどうありたいか。多くの人が大切だとわかっているけれど、なんとなく縁起でもないという理由で避けて通っている…。そんな縁起でもない話を考えたり話し合うきっかけを作るのが「もしバナゲーム」です。家族や友人にあなたの願いを伝え、理解してもらうためのきっかけになります。

「もしバナゲーム」のレクリエーションは終活ノートや病院の事前指示書を書くことを目的とはされていません。価値観の多様性やゆらぎに気づくことによって、もしものときの自分の意向や代理決定者としてのふるまいについて捉えなおすきっかけになれば…と考えてデザインされています。(iACPより)

私たちが看護分野認定看護師二人は「iACP 公認もしバナマイスター」の称号を受けて、もしバナゲームを用いたワークショップを地域で開催しています。今後は、「人生会議」・「もしバナゲーム」の出前講座も行っていく予定です。この有明地域の人たちが「住み慣れた場所で最期まで過ごせるように…」少しでもサポートできればと思っています。

「地域における医療と介護のつながりを深める研修会」

期間 : 令和元年5月～令和2年2月 奇数月
 時間 : (1部) 19:00～20:00 (2部) 20:00～21:00
 場所 : ホテルヴェルデ
 対象者 : 医療・介護に携わる専門職

◆研修会は、2部構成で開催いたします。

日程	タイトル(予定)	講師
第3回 2019.09.19	糖尿病と腎不全	藤江康行先生 荒尾市民病院 腎臓内科
第4回 2019.11.20	循環器(高血圧と脂質異常)	梶原一郎先生 荒尾市民病院 副院長
第5回 2020.01.15	骨粗鬆症とサルコペニア	大嶋俊範先生 荒尾市民病院 神経内科

第2回目となった7月10日(水)の開催日には大牟田市、玉名郡市、荒尾市の医療、介護に携わる専門職の方々にご出席頂き140名を超える研修会となりました。荒尾市民病院 外科 濱口裕光先生による「高齢多死社会における人生の最終段階の医療・ケアを考える」のお話でした。



荒尾市在宅医療連携室 在宅ネットあらお
 荒尾市宮内 1092-18(荒尾市医師会敷地内)
 TEL:0968-57-9350 FAX:0968-57-9605
<http://zaitaku.arao-med.or.jp>
 ホームページにも載せておりますのでご覧ください
 担当:青木 浦